

ヤングケアラーを知っていますか？

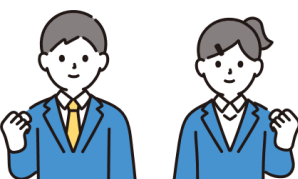
ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。家族のために頑張ることは素晴らしいことですが、反面、友人関係から孤立したり、進学や就職を諦めたりする原因にもなりかねません。大人が手を差し伸べることはもちろん大切ですが、まずは存在に気づき、見て見ぬふりをしないことです。周りの子どもたちを気を付けて見守りましょう。詳しくは2月の広報ふくやまに記事が載っていますのでご覧ください。（福山市のホームページでも見ることができます。）

指導員の窓

パソコンやスマホなどを利用した SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が私たちの生活を大きく変えてきている。SNS は大変便利で楽しい道具である。

しかし、この SNS が大変深刻な問題も引き起こしている。特殊詐欺や個人情報の流出、ネット上のいじめや度が過ぎるいたずら行為等々の問題が生じている。それらにより、金銭面だけでなく精神的な被害を受ける人もいる。もちろん、SNS 自体に問題があるわけではなく、それを利用する人間に問題があるのである。犯罪行為はもちろん許されないし、加害者は厳しく罰せられるべきである。あわせて、被害者を増やさないよう様々な啓発活動もさらに続けられるべきである。

報道等によると、そのような問題を起こした加害者の多くは若者である。軽い気持ちで行ってしまい、後で反省しても取り返しのつかないケースも多くある。この「軽い気持ち」というのが、問題である。SNS の発達と、人の痛みが感じられないことが増えてきたこととの因果関係は明確にはわからないが、直接会ってお互いの顔を見ながら話をする機会が減っていることは確かである。SNS 関係での加害者になる若者を増やさないため、何が必要なのか社会全体で考えていくべきである。



私が指導員として関わる青少年が実際にそのような立場になる可能性はないと思うが、人間関係が希薄な厳しい現実の中で生きているのも事実である。社会との絆を大切に、社会の中で自己を実現できる若者（大人）になってほしいとの願いを込め、指導員としての関わりを継続していきたいと考えている。（藤田）

こどもの安心・安全

こども 110 番の家協力軒数（2023 年 2 月 9 日時点）

・設置件数・・・5,179 軒（前年比 96 軒の減少）

（うち 一般住宅 2,995 軒，その他 2,184 軒）

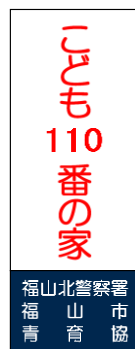
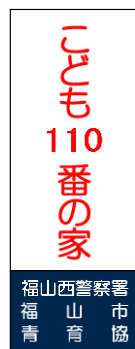
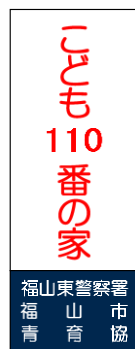
不審者駆け込み事例は 0 件

高齢化などにより、軒数は減少傾向にあります。

こどもたちを犯罪被害から守るために協力してみたい！という方は
まずは 928-1046 までお問合せください！

くわしくは検索 →

福山市 こども 110 番



中央青少年育成員のコーナー

『地域の子どもは地域で育てる』この言葉について考えてみた

学区の中には、子どもたちが増えていく地域がある一方で、過疎化が進み、子どもたちが安心・安全に育ち学んでいくためにはどうしたら良いかとの問題点をもつ地域がある。保護者と先生だけでなく、地域の人たちとの連携が必要不可欠とされている。

先人たちがたゆみなく努力を重ねて築き上げた町を、これからも住んでいる子どもたちが誇りを持てる町にしたい。人と人との関わりを大切にしながら温かい見守り活動、やさしい声かけ、挨拶を大事にするなど、地域の人たちが子どもたちとの信頼関係を深めていくことが、地域で育てることに繋がると思う。



また、地域学習（活動）と一緒に取り組むことで、住んでいる町（学区）に愛着がわき、誇れる町になると思う。例えば、地域の清掃活動や地域ならではの行事に参加してみることである。

先日、私の学区の子どもたちは、福山城築城400年記念事業の「時代行列・福山とんど祭り」に参加した。昨年よりとんど作りに参加し、学区で5基ものとんどを作った。子どもたちも毎週日曜日に“わらさばき”から手伝い、完成まで2か月を要した。地域の各団体のたくさんの方々との繋がりの中で、子どもたちも率先して周りの清掃をするなど、気配りをしてくれた。その姿に感動し、教室では味わえない体験だった。とんど作りから福山城下町の練り歩き、一生に一度の貴重な体験をした。

最後に、新聞から声かけの例を紹介する。

「ある日スーパーの前で、幼い子に手を上げた母を見て声をかけました。『ママ、ママと泣いているよ。手を上げられてもママが好きなのよ。子どもは貴女の宝、優しく育ててね。何かあったかも知らず、余計だったらごめんね。』『いいえ。ありがとうございます。』と涙した立派なお母さん。私も一緒に涙しました。」（吉岡）

課名が変わります & 移転のお知らせ

2023年度（令和5年度）から、機構改革により青少年・女性活躍推進課は「若者・くらしの悩み相談課」に名前が変わり、所在地も福山市役所本庁舎（東桜町3番5号）東棟1階に移転します。福山駅に近く、子ども・若者の居場所スペース（愛称：YuRuRi）もあります。ぜひ、お立ち寄りください。（電話番号は今までどおり、928-1046です。）

編集後記 1963年（昭和38年）に開所した福山市青少年センターは2023年（令和5年）3月31日をもって名前はなくなりますが、全ての機能は新しい課で引き継いで続けていきます。時代の流れの中でスマートフォンやSNSの普及に伴い、青少年を取り巻く環境が刻一刻と変化し、問題も色々と出てきています。そのような状況下でも、青少年は地域や社会の宝という思いで、これからもより一層青少年の健全育成に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。（高橋）

